



編集・発行／荒川区議会 ホームページアドレス <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>
〒116-8501 東京都荒川区荒川 2-2-3 電話03-3802-3111 (代表)

新年号
平成19年第4回定例会号



議長 竹内 捷美



副議長 中村 尚郎

新年あけましておめでとうございます。区民の皆様には、新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、20年後の区の将来像として「幸福実感都市 あらかわ」を掲げ、真に幸福を実感できるまちを目指す「荒川区基本構想」を制定し、その実現に向けた様々な施策が展開され、また、区制施行75周年を祝う記念式典をはじめとする各種記念事業が開催されました。そして、19年7月に竣工したひぐらしの里西部地区に続き、本年3月に中央地区が竣工するほか、長年に渡り開通を待ち望んでいた日暮里・舎人ライナーが本年3月に開業するなど区内の街づくり・交通網がさらに充実します。また、19年12月に、旧三河島汚水処分場唧筒場施設が有形文化財として区内で初めて国の重要文化財に指定され、白鬚西部地区では本年4月に、小学校及び沙人こども園(幼稚園・保育園の一元化施設)の建設工事が始まるなど、区政は着実に進展しています。

一方、地方経済の状況は、依然として厳しく、経済格差が拡大する中、各地で歴史的街並みや地域に根ざしたイベントを文化資産・観光資源として積極的に活用するなど地域自らもつ地域力を発揮し、地域を活性化する動きが広がりをみせました。また、地球規模で温暖化が進行し、各地で異常気象・自然災害が多発するなど、顕著な影響が現れ、環境問題が身近な問題として関心が高まる中、区や町会、ボランティア等が一体となって、温暖化防止・ヒートアイランド対策に積極的に取り組んだ一年でした。

新たな年を迎え、区議会といたしましては、引き続き、執行機関との連携を図るとともに、その執行を監視し、また積極的な政策提案を通して議会の役割を発揮してまいります。

本年も、区民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。



新年のごあいさつ

議案の審議結果 平成19年第4回定例会・第2回臨時会

○ 賛成 × 反対 - 退席 太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は、会派人員)										結果
	自民党 荒川区議会議員団	公明党 荒川区議会議員団	民主党 市民の会	あらかわ元氣クラブ	尚志会	あらかわ正論の会					
<第4回定例会> 議員提出議案(4件)											
第19号 固定資産税の償却資産に関する意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第20号 都市計画税及び固定資産税の軽減措置等の継続に関する意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第21号 メディカルコントロール(救急医療)体制の充実を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第22号 区民活動に係る費用の増大及び影響を受けられる区民への対応の充実を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
<第4回定例会> 区長提出議案(12件)											
第68号 荒川区一般職の任期付職員の採用に関する条例	○	○	×	○	-	○	○	○	○	○	可決
第69号 学校教育法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第70号 荒川区手数料条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
第71号 平成19年度荒川区一般会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
第72号 平成19年度荒川区介護保険事業特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
第73号 児童の取組(仮称)南千住区工事現場見守り隊のあり方及び区民等緊急時対応策について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第74号 西日暮里ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第75号 汐入ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
第76号 東日暮里ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
第77号 日暮里駅前自転車駐車場指定管理者の指定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
第78号 荒川区土地開発公社定款の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第79号 荒川区立こども園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
<第2回臨時会> 区長提出議案(3件)											
第80号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	可決
第81号 職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第82号 幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

区議会第4回定例会 一般会計補正予算など 議案16件を可決

区議会第4回定例会が、11月30日から12月13日までの14日間の会期で開かれました。

本会議の11日日には、4人の議員から区政全般にわたる一般質問が行われました(要旨は2・3面に掲載しています)。

本定例会では、議員から意見書4件、区長から一般会計補正予算(第1回)など議案12件が提出されました。これらの議案16件は、いずれも原案どおり可決されました。

掲載記事のご案内

2面・3面

区政のこうをきく
一般質問要旨

北城 貞治議員(自民党)
武藤 文平議員(公明党)
斉藤 邦子議員(共産党)
守屋 誠議員(自民党)

第4回定例会の日程
声の区議会だよりのお知らせ
第2回臨時会の概要
意見書提出
採択した請願・陳情

4面
新春を迎えて
1 各会派新年の抱負
各会派の構成

区政の要を要

一般質問要旨

中小零細企業振興策と 浸水・環境対策について



北城 貞治
(自民党)

中小零細企業振興策について

問 荒川のポテンシャルを支えてきたのは商店街である。今後商店街が果たすべき役割の認識と商店街の振興策について、区の見解を問う。

答 商店街は、地域住民の交流、良好な地域コミュニティの形成、賑わいの創出等、街づくりや地域文化の担い手としても重要な存在であり、高齢化の進展により益々その重要性は増していることを認識している。今後、事業者の発意等を前提にして商店街ルネッサンス事業をはじめとする振興施策を推進し、関係者の意識向上等を図る措置も併せて講じ、商店街の活性化に取り組んでいく。

問 中小企業の活性化を図るためにも、真の豊かさを実感できる荒川区の創出のためにも、経済波及効果の大きい住宅に目を向けるべきと考え、区の見解を問う。

答 区が発注する改修等に関して区内中小工務店への発注の一層の拡大に努めるほか、区民が建築費や住宅改修等の際に、積極的に利用していただけるよう支援策を検討していく。

問 中小工務店支援策として、建築確認の審査が速やかにできる体制の整備など、中小工務店応援特区」とも言うべき荒川区独自の取り組みについて区の見解を問う。

答 建築審査体制を強化し、迅速な対応を図っていく。また、経営基盤の強化・経営革新の促進・後継者育成及び技能継承の視点から業種を限らず実施している様々な支援策を中小工務店も活用できるよう周知するほか、区民が中小工務店の情報に接することができる仕組みについて調査研究する。

問 環境被害を無くすことは、喫緊の課題であり、同時に老朽化した下水道管きよの再構築も必要と考え、区の見解を問う。

答 下水道局に対し改善を強く要望するほか、抜本的に解決する再構築工事を計画的に行っていく。また、東尾久浄化センターでは、排水能力を増強したポンプ所の建設工事が行われており、町

屋・尾久地域の浸水対策に大きな効果が期待できる。引き続き、浸水被害地域の改善に向け下水道局と協議を進め、積極的に取り組んでいく。

問 防災上、有効な対策と言われる透水性舗装の拡大が環境先進都市を目指す荒川区にとって、今まで以上に必要な事業と考え、区の見解を問う。

答 18年度までに、約8万3千平方メートルの透水性舗装を施工した。20年度にはこれまでの施工面積を倍増し「環境先進都市あらかわ」の実現に向け、今後も積極的に取り組んでいく。

問 道路上に張り巡らされている電線類は景観を損ね、高齢者の通行の障害となり、災害時は避難・救助活動の支障となる電線類の地中化を一層促進していく必要があると考え、区の見解を問う。

答 電線類の地中化は安全で快適な街づくりに欠かせないと認識している。今後さらに拡大するため、自治体の補助制度の拡充や事業推進に向け、有効な方策の実施を図り東京都に働きかけていく。

問 行財政改革と人材育成について教育行政について

答 行財政改革と人材育成については、教育行政について

高齢者・子育て支援策と 尾久地域の街づくりについて



武藤 文平
(公明党)

高齢者・子育て支援策について

問 現在、特別養護老人ホームの入所待機者数は626人、そのうち在宅での待機者が319人と全体の半数を超えている。在宅で介護を続けている家族の負担を軽減するため、新たな特別養護老人ホームの整備は急務である。民営民営方式を基本とし、区用地を提供して、民間の特別養護老人ホームを誘致すべきである。

答 現在、ご自宅と介護療養型施設で入所を待っている要介護4及び5の高齢者167人を受け入れることのできる規模の特別養護老人ホームを新たに整備すること

を緊急の課題としている。民間活力の活用を図るため、区が施設用地を提供し、公募により選定された法人が建設や運営を行う「民営民営方式」を基本として、用地の確保や民間事業者の誘致などに全力をあげて取り組んでいく。

問 わが党の提案を受け、「放課後子どもプラン事業」が尾久宮前小学校でモデル実施され、近隣のお母さんたちからも喜びの声が

数多く寄せられている。モデル事業の検証を踏まえ、児童クラブを全面的に「放課後子どもプラン事業」に移行するなど、全校実施に向けた拡大策について見解を聞きたい。

答 モデル事業の成果として、在籍児童の約8割が登録していること、放課後の安全・安心な居場所づくり、異学年との交流、地域ぐるみで子どもを育む環境づくり

に寄与できたことなどを評価している。様々な課題もあるが、他の学校への拡大を検討する。

問 障がい児の放課後対策については、現在、4年生まで児童クラブに受け入れられているが、6年生までの保育延長を求める切実な要望がある。さらなる工夫により対応を図っていただきたい。「放課後子どもプラン」への障がい児の受け入れも検討してほしい。

答 児童クラブへの障害のあるお子さんの受け入れを6年生まで延長する場合、身体的・精神的成長に合わせた指導プログラムの策定、専任の指導員の配置、専用ス

ベースの確保などの検討が必要になる。放課後子どもプランでの受け入れは、障害の程度や実施校の状況などを勘案し検討していく。

問 尾久地域の街づくりについて

答 宮前公園周辺の環境は、文教施設としての八幡中学校や尾久図書館、水辺環境・バラ、都電通りなど地域資源としてのいろいろな要素が考えられるので、これを生かして、区民にゆとりと潤いを与える公園に整備すべきである。

問 地域の安全性の向上に寄与する公園「観光による地域の活性化に貢献する公園」地域の活性的交流の場となる公園」をコンセプトとして整備していきたい。

答 宮前公園整備の全体計画と進捗状況は、どうなっているのか。

答 計画区域を3区間に分け、北から南に向かって段階的に着手していく。第1期整備区間は平成21年度までに暫定整備し、その後27年度までの完成を目指している。第2期は25年度まで、第3期は29年度までの完成を目指している。

問 行財政改革について

答 行財政改革について

問 声の区議会だよりをご利用ください

荒川区議会では、議会の活動状況を「区議会だより」でお知らせしていますが、目の不自由な方に、議会の活動状況を知っていただくため、「声の区議会だより」を発行しています。

「声の区議会だより」は、「あらかわ区議会だより」の内容をテープに吹き込み、貸し出しするものです。

ご家庭や、お知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。

内線 3616

第4回 定例会日程

11月30日
本会議

12月3日
議会運営委員会
本会議

12月5日
総務企画委員会

12月7日
文教・子育て支援委員会

12月10日
文教・子育て支援委員会

12月12日
議会運営委員会

12月13日
本会議

平成20年荒川区議会第1回定例会は2月中旬に開会する予定です。

より良い保育環境整備の 区の責任、障害者の就労と 住まいの確保について



齊藤 邦子
(共産党)

保育への営利企業参入の問題とより良い保育環境整備の区の責任について

問 認定保育所じゃんぐる保育園の認定基準や労働法違反をいっとう把握し、何を改善させたのか。今後子どもの成長と親の就労を守るためにどう対応するのか。

答 東京都認定保育所は東京都の書面審査と実地検査を経て認定される。じゃんぐる保育園は、今年度都が立入調査を実施したほか、区に寄せられた保護者からの苦情や要望には、区も巡回指導を実施し一定の改善を見た。今後も都と連携し、指導・助言を強化する。

問 区内保育園の設置運営に独自の基準を持ち、その観点から認定保育所のあり方と基準の見直しを東京都にも求めること。

答 認定保育所は認可保育園、家庭福祉員とともに保育の三本柱を構成する重要な存在である。その認定基準は、適切な保育水準となるよう都が独自に設定したもので、区としては、この水準に則り運用することが使命と考える。

問 来年4月実施予定の保育園給食調理業務委託を中止すること。

答 子どもたちにとって安全で安心な、そして、おいしい給食を提供するため、順次、給食調理業務の委託を進めていく。

問 障害者の就労と住まいの確保について

問 区として就労支援のための実習を実施し、区内企業における雇用を促進すること。

答 区では、NPO団体が実施している清掃訓練事業やパンの製造・販売による就労訓練事業に対し支援を行っている。区内企業の雇用促進については、職場整備等に対する補助事業を実施することにも特例子会社の区内誘致に向けて準備を進めていく。

問 精神障害者の福祉作業所に対する家賃助成を創設し運営を支援してはどうか。

答 これまで区では、精神障害者の福祉作業所に対する補助を行ってきた。障害者自立支援法に基づき新サービス体系への移行後も、安心して運営できるようにさらなる支援の必要性を検討していく。

問 就労・日中活動の場とグループホームの配置運営の具体的な計画を持つこと。

答 就労・日中活動の場については、荒川生活実習所の定員を拡大する。グループホームなどの施設についても民間事業者への働きかけを含め、整備を促進していく。

問 後期高齢者医療制度の問題点について

答 介護保険法の改善のために、教育委員会の第一義的責務である教育条件整備に力を尽くすこと

問 三河島駅前北地区再開発事業の迅速な立ち上げと清掃事業について



守屋 誠
(自民党)

三河島駅前北地区再開発事業の 迅速な立ち上げと清掃事業について

三河島駅前北地区再開発事業の迅速な立ち上げについて

問 三河島駅前北地区再開発事業は、平成16年6月に準備組合が設立され、その後の具体的な進捗が見られない。もう少しコンパクトな街区で迅速に事業を立ち上げる必要があるのではないかと。

答 街区をコンパクトにまとめることも一つの手法であると認識しているが、再開発事業は地元の意向を尊重していくことが求められており、必要に応じて準備組合とも協議し、一刻も早く事業化できるように支援していく。

問 雨の日も暑い日も寒い日も大量のごみを収集する清掃事業は、都市の生活を維持する上でなくてはならない重要な役割を担っている。平成12年に都から区に移管されてよかったと区民に実感してもらえないように、今後努力していく必要がある。清掃事業に対する区の基本的な考えを聞きたい。

答 今年度改定した一般廃棄物処理基本計画で、これからの清掃事業の方向性を示す基本理念を「荒川区ならではの質の高い循環型社会の構築」と定めた。この計画に基づき、リサイクル意識の向上や地域コミュニティの強化にもつながる荒川区独自の方式である集団回収事業を一層推進していく。また、リデュース、リユース、

リサイクルの三つのRを推進する事業を積極的に展開していきたい。

問 来年4月、区内全域でサイマルリサイクルの実施が予定されている。34年連続した可燃・可燃の区分を変更するので、区民の方々が混乱しないよう周知の徹底を図ることが重要である。今後どのように周知していくのか。

答 特別区長会で来年度からのサイマルリサイクル実施が確認された。プラスチック類やゴム・皮革製品は、不燃ごみから可燃ごみへと分別が変わる。平成12年の清掃事業の特別区移管時と同様に、現在、各町会の役員会等において分別ルール変更等の説明を行っている。さらに今後、リーフレットの各戸配布、区報特集号、説明会の開催、ポスター掲示など、様々な機会を通して周知していく。

問 建物の建て替えなどで既存の集積所が使えなくなった場合、新たな集積所の設置について関係者の了解を得るのが難しく、近隣同士のトラブルを招くなど、解決困難な事例がある。また、高齢の方などが集積所へのごみ出しに苦労している場面を見受けるところもある。今後の収集・運搬体制の中で戸別回収を増やすなど、きめ細かな対応が必要と考えるがどうか。



答 ご指摘のように、新たな集積所を決めるのが難しいといった意見やごみの出し方をめぐるとのトラブル等の事例が見受けられる。一方、戸別回収は、収集経費の増加が見込まれ、ごみを置く場所の確保や収集作業の安全性確保が懸念されるなど課題が多く、十分な検討が必要である。平成14年3月に開始した、ごみ出しの困難な高齢者や障害者の戸別回収は、対象者拡大の必要性等について検討していく。

その他の質問項目

問 特別養護老人ホームの整備

答 ふれあい館の見直しについて

これからの荒川区の街づくり

第2回臨時会を開会

区議会第2回臨時会が12月20日に開かれました。この臨時会では、職員給与に関する条例の一部を改正する条例など議案3件が区長から提出され、いずれも原案どおり可決されました。(議案の審議結果は1面に掲載しています。)

意見書提出

本定例会では、4件を可決し関係機関に提出しました。

固定資産税の償却資産に関する意見書

(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、財務大臣あて)

都市計画税及び固定資産税の軽減措置等の継続に関する意見書

(東京都知事あて)

メディカルコントロール(救急医療)体制の充実を求める意見書

(内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣あて)

妊婦健診に係る費用の助成の拡大及び健診を受けられる医療機関の充実を求める意見書

(東京都知事あて)

採択した請願・陳情

採択

○小規模住宅用地の都市計画税の軽減措置の継続につき意見書の提出を求める陳情

○負担水準が65%を超える商業地等の固定資産税、都市計画税の軽減措置の継続につき意見書の提出を求める陳情

○小規模非住宅用地の固定資産税、都市計画税の減免措置の継続につき意見書の提出を求める陳情

○償却資産に対する固定資産税における意見書の提出を求める陳情

○東目暮里幼稚園での3歳児保育実施を求める陳情

○荒川区立幼稚園全園での3歳児保育早期実施を求める陳情

詳細については現在作成中の会議録がございましたら、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。

また、荒川区ホームページの区議会情報ページ
(<http://www.city.akakawa.tokyo.jp/kugikai/>)
で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせてご利用ください。



新春を迎えて

各会派新年の抱負

自民党

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は大企業中心の景気回復に留まり、区民には実感のない年でした。本年は、アメリカのサブプライムローンによる金融不安や原油高騰が及ぼす影響など、不安を抱える中、新たな年を迎えました。

私たち自民党は区議会第一党として、常に区民の目線に立ち、地に足の着いた区政を推進してまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

【行政改革】

私たち自民党を中心に、人員削減や民間委託など、不断の行政改革を推進した結果、起債（区の借金）と基金（区の貯金）が均衡するまでに区の財政状況は改善しました。引き続き、行政改革を推進

【危機管理】

昨年6月、廃止交番3カ所を防犯拠点とする「安全・安心ステーション」を開設し、10月には第二日暮里小学校内に開設するなど、保護者にも大変喜ばれています。引き続き、安全・安心な街づくりを推進してまいります。

【教育改革】

国は、ゆとり教育を見直す改革を進めています。区では、習熟度別学習や、英語教育、国語力向上に引き続き取り組み、教育・学力の向上を目指してまいります。

【子育て支援】

昨年4月に、中学3年生までの医療費無料化が実現し、また、本年4月に「汐入こども園」が開設するなど、区の将来を担う子供たちのため、安心して子育てができる環境を整備してまいります。

公明党

新年を寿ぎ、謹んで挨拶申し上げます。

国会において衆議院と参議院の多数派が異なる、いわゆる「ねじれ国会」の中で、公明党は庶民を守る視点に立ち、言うべきことははっきり言い、政策実現のための橋渡し役を一層強化してまいります。

そのうえで、「大衆と共に」との、立憲精神のもと「地域活性化」「雇用格差是正」「救急医療」「中小企業活性化」の4つの柱を掲げ挑戦してまいります。

私達公明党区議員は、常に生活者の声を真剣に受け止め、次の重点政策を推進してまいります。
①行政改革のさらなる推進
②中立・公正・透明性のある入札

民主党・市民

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

初めに議席をいただいた民主党たぎくち学、清水ひろしと無所属市民派の喜代は、地域に密着した議員として、皆様にとって最も身近である区政に「生活が第一」「情報公開と区民参画」の視点で活動して参ります。

区内産業の活性化は喫緊の課題です。観光・文化施策を中心に区のPRと地域の活性化を図るほか、融資制度の充実・区内事業者優先の契約制度の見直しなど、区内企業の支援を推進してまいります。

【区内産業の活性化】

区内産業の活性化は喫緊の課題です。観光・文化施策を中心に区のPRと地域の活性化を図るほか、融資制度の充実・区内事業者優先の契約制度の見直しなど、区内企業の支援を推進してまいります。

【子育て支援】

昨年4月に、中学3年生までの医療費無料化が実現し、また、本年4月に「汐入こども園」が開設するなど、区の将来を担う子供たちのため、安心して子育てができる環境を整備してまいります。

共産党

新年あけましておめでとうございませう。

昨年は、区民の声を区政を動かす子ども医療費無料化を中学3年生まで拡大しました。区議会議員選挙での6名全員当選を力に、新年度から、妊婦健診の無料化拡大や区立幼稚園の3歳児保育もはじまります。また、特別養護老人ホームの運営費補助や障害者福祉作業所への家賃補助の拡大も行います。政府の進める「構造改革」で貧困と格差が拡大、住民税増税と医療費、住宅費の負担増、子育て不安の増大、75歳以上の高齢者に新たな医療制度で負担が増えるようとしていきます。それだけに荒川区の積み立て29.5億円余も活用し、さらに子育て支援と高齢者の医療、介護などの負担軽減に力を

つきます。
▼低所得者の介護保険料免除（年収120万円以下で貯蓄300万円未満）▼要介護4・5の方に月1万円の手当を▼後期高齢者医療制度の負担軽減▼日中独居、老老介護世帯に区独自で生活支援サービスを▼銭湯の「高齢者半額入浴」制度創設を▼産出産手当制度を▼30人学級めざし当面小学校低学年で少人数学級を▼卒業アルバムの補助復活を▼学校図書館指図書員を1校1人体制に▼障害者福祉の負担を施設利用含めてゼロに▼商店会の街路灯電気代全額補助など実現させます。

【環境】

①緑を増やす②雨水利用③ごみの減量・リサイクル

【福祉】

①高齢者や障がい者の就業と生活支援②認知症対策③医療と施設・在宅介護の連携と充実

【子育て・教育】

①妊産婦検診の助成拡充②一時、病児保育、交流サロンの充実③米飯給食の拡大

【震災対策】

①耐震化推進・助成

元気クワフ

ものづくり・地域商店街・住宅が共存する活気ある下町 荒川区、区民が豊かに暮らせる荒川区をめざして政治を変えて！斉藤ゆうこ

尚志会

日本の伝統・文化・誇りを守り、正直者が馬鹿を見ない社会へ！未来の為に足を知る「精神」を！「小坂英二」でネット検索を是非

正論の会

今年も教育の充実を目指します。教育支援員（T.A.）の全校配置・少人数学級など人材確保が急務。子供の心の豊かさは教育にあり！



②住民参加型訓練
民主党・市民の会は、ボール遊びのできる公園やドッグランの整備をはじめ、賑わいのある商店街や花と緑の路地裏など、「歩きたくなるまち荒川」を目指します。
国政では、政権交代を実現し、国民のための政治を取り戻します。今年一年、皆様の「健康とご多幸」をお祈り申し上げます。

<p>自由民主党 荒川区議会議員団</p> <p>幹事長 菅谷 安男 副幹事長 若林 清子 副幹事長 斉藤 泰紀 副幹事長 茂木 弘 副幹事長 竹内 捷美 副幹事長 小坂 眞三 副幹事長 服部 敏夫 副幹事長 並木 一元 副幹事長 北城 貞治 副幹事長 守屋 誠 副幹事長 烏飼 秀夫 副幹事長 鈴木 堅之 副幹事長 須永 京子 副幹事長 志村 博司</p>	<p>公明党 荒川区議会議員団</p> <p>幹事長 萩野 勝 副幹事長 保坂 正仁 副幹事長 吉田 詠子 副幹事長 中村 尚郎 副幹事長 戸田 光昭 副幹事長 武藤 文平</p>	<p>日本共産党 荒川区議会議員団</p> <p>幹事長 横山 幸次 副幹事長 小林 行男 副幹事長 安部キヨ子 副幹事長 斉藤 邦子 副幹事長 相馬 堅一 副幹事長 小島 和男</p>	<p>民主党・市民の会</p> <p>幹事長 瀬野 喜代 副幹事長 瀧口 学 副幹事長 清水 啓史</p>	<p>あらかわ元気クワフ</p> <p>幹事長 斉藤 裕子</p>	<p>尚志会</p> <p>幹事長 小坂 英二</p>	<p>あらかわ正論の会</p> <p>幹事長 浅川 喜文</p>
--	---	--	--	--	------------------------------------	---